

催し

青年の陶芸教室

対象 市内在住 在勤 在学の高校生〜おむね30歳〜の初心者で、両日とも参加できる方
日時・内容 2月17日(日)午後1時〜4時形成 3月3日(日)午後1時〜3時絵付け
会場 ひなた村
定員 30人(申し込み順)
費用 1,000円(当日徴収)
申し込み 電話でひなた村へ
722・5736へ

菜種油しぼり実演

野津田町の七国山地区で栽培している菜種から、昔ながらの方法で菜種油をしぼります。
当日は、菜種油を1本800円

国際版画美術館 726-2771

映像ファンタジー コンピュータ・グラフィックスの世界

ここ1年間に制作された優れたCG作品を上映する。日本最規模のCGによる展覧会、世界最高の多くのスタジオからの出品が予定されています。
期間・内容 2月13日〜17日世界の最新コンピュータ・グラフィックス作品集、19日〜24日世界の最新コンピュータ・グラフィックス作品集、26日〜3月3日日本と世界の学生CG作品集
上映開始時間 1回目 午後1

で、9時30分から販売します(500円35本の販売予定)。
期日 2月16日(土)
時間 午前10時〜午後2時
会場 ふるさと農具館
交通 小田急線町田駅北口P.Oビル先21番乗り場から、本町田駅由野津田車庫行き、または鶴川駅行きバスで「薬師ヶ丘」下車、徒歩10分。
車でお越しの方は、薬師池駐車場に駐車願います。
園ふるさと農具館736・8380

おやこあ・そ・ぼっ 大地沢・春をさがしてハイキング
春の陽光あふれる大地沢で、ハイキングをはじめ親子でたくさん野外遊びをします。
対象 今年4月に就学する6歳児〜小学3年生の子どと保護者(親子で参加下さい)
期日 3月3日(日) 午前10時〜午後3時
会場 大地沢青年センター
定員 50人(親子あわせて申し込み順)
費用 100円(教材費・保険料等)
申し込み 電話で青少年課へ
724・2182へ

木工作教室 シジウカラヤクドリなど、身近な鳥が利用する巣箱を作り、庭や公園に小鳥を呼びましよう。
対象 小学生以上(低学年は保護者同伴)
日時 2月24日(日) 午後1時〜4時(雨天実施)
会場 忠生がら自然館
定員 25人(申し込み順)

題した講演会を開催します。
日時 2月16日(土) 午後3時30分〜5時(各回50分)
2月16日は講演会のため、2回目の上映を午後2時30分から行います。
会場 同館ハイビジョン・ホール
定員 各回100人(先着順)



"Conscious" ©2002 MASA INAKAGE

「Conscious」の映画版「セレイ」時を超えた遭遇のデジタル・エフェクトを担当した安全健一氏を講師にお迎えして、「アニメ・CG・映画の接点」ポケモン映画に携わる観点から、と

申し込み 2月11日午前9時から電話で生谷がら自然館へ
792・1326へ
交通 町田バスセンター3番乗り場から、小山田桜台、または「下山崎」行きバスで、忠生公園前下車。
駐車場が不足しています。バス等をご利用下さい。
消費生活センター
テスト講座
環境問題 私の家からチェック
対象 市内在住 在勤 在学の方(全回受講できる方を優先)
期日・内容 ①2月21日(木)「川と海、汚れているのはだれ?」②26日(火)「おしり空気吸っていますか?」③3月7日(木)「ゴミ問題 プラシックでパニック」
時間 午後1時30分〜4時
会場 町田市民フォーラム

講師 ①②③コンピュータ技術教育研究会代表・沢木佐幸氏
④多摩消費生活センター職員・樹林真氏
定員 16人(申し込み順)
申し込み 2月12日午前9時から、電話で消費生活センターへ
725・8805へ
託児(2歳以上、人数に限りあり)を希望する方は、申し込みの際にお申し出下さい。
消費生活センター
学習会
「いざという時に役立つお母さんの知識」
対象 市内在住 在勤 在学の方
日時 2月28日(木) 午前10時〜正午
会場 町田市民フォーラム
講師 全日本葬祭業協同組合連合会専務理事・勝見陽一氏
定員 35人(申し込み順)

申し込み 2月12日午前9時から電話で消費生活センターへ
725・8805へ
託児(2歳以上、人数に限りあり)を希望する方は、申し込みの際にお申し出下さい。
大賞抽選会
紙漉講習会
紙の材料づくりと漉紙・葉書・刺書の紙漉を体験していただきます。
日時 3月3日(日) 午前9時〜正午
会場 大賞抽選会
定員 20人(抽選)
費用 1,000円
申し込み 電話で2月22日まで
に大賞抽選会へ
797・1611へ

申し込み 2月12日午前9時から電話で消費生活センターへ
725・8805へ
託児(2歳以上、人数に限りあり)を希望する方は、申し込みの際にお申し出下さい。
大賞抽選会
紙漉講習会
紙の材料づくりと漉紙・葉書・刺書の紙漉を体験していただきます。
日時 3月3日(日) 午前9時〜正午
会場 大賞抽選会
定員 20人(抽選)
費用 1,000円
申し込み 電話で2月22日まで
に大賞抽選会へ
797・1611へ

まちだ 歴史発掘

その9

昨年12月11日号で紹介した「町田村の青年結社」の2回目です。前回は歴史の土の中に埋もれていた青年結社「大成会」・「辛卯会」・「町田青年倶楽部」の概要を紹介しましたが、今回はもう少し掘り下げてみましょう。
1890(明治23)年12月頃結成された大成会は、翌年3月頃、辛卯会へ名称変更しますが、その際、新会長洪谷忠蔵が、青年たちを前に演説をしています。洪谷は自由党员で、初代町田村長となつた人物です。今回は彼が青年

町田村の青年結社 part 2

たちにとどのような演説をしたのか、調べてみたいと思います。洪谷はまず、青年たちに問いかけます。「人類がこの世に生きる理由は何か。どのような方針を取り、どのような目的をもつて義務を全うすべきか」。彼は、その答を次のように話しています。
「我々は生まれながらに自由・権利があり、各自の『目的』に最大の幸福に進めなければならぬ。このことは、十九世紀今日二当り最も必要なことだ。我々の義務は、商人は商業、農民は農業、各自の『幸福』を求め、道を開くことだ。そのために知識の交換、目的の研究を、各自実生活に活用して、最大幸福を得よう努めよう。つまり、生まれながらにして自由と権利を持つといふ『天赋人権論』を基本に、各自の職業や職業にあった幸福を、生懸命考えていこう。考えたことは、実際に行動して活用しよう」ということです。青年たちはこの演説の通り、演説会や討論会を開いて知識の交換をしていました。
また、洪谷が使っていた「十九世紀」という言葉は、明治20年代の青年たちがよく使いました。世紀末が近く時期将来の日本を背負って立つ青年たちのキーワードだったのでした。
自由民権資料館では3月31日まで、収蔵史料展「町田の青年



洪谷忠蔵の演説筆記(記事録)

対象 小学生17歳の方
日時 2月27日(水) ①午後2時30分〜4時②4時15分〜5時45分
費用 500円(当日徴収)
申し込み 2月11日午前10時から電話で消費生活センターへ
725・8805へ
申し込み 2月11日午前10時から電話で消費生活センターへ
725・8805へ
申し込み 2月11日午前10時から電話で消費生活センターへ
725・8805へ

申し込み 2月12日午前9時から電話で消費生活センターへ
725・8805へ
申し込み 2月12日午前9時から電話で消費生活センターへ
725・8805へ
申し込み 2月12日午前9時から電話で消費生活センターへ
725・8805へ

申し込み 2月12日午前9時から電話で消費生活センターへ
725・8805へ
申し込み 2月12日午前9時から電話で消費生活センターへ
725・8805へ
申し込み 2月12日午前9時から電話で消費生活センターへ
725・8805へ

申し込み 2月12日午前9時から電話で消費生活センターへ
725・8805へ
申し込み 2月12日午前9時から電話で消費生活センターへ
725・8805へ
申し込み 2月12日午前9時から電話で消費生活センターへ
725・8805へ